

■ボランティアなどのお問合せは各区社会福祉協議会まで

区社協名	所在地	TEL	FAX	E-mail
鶴見区社会福祉協議会	〒230-0051 鶴見区鶴見中央 4-32-1 UNEX ビル 5F	504-5619	504-5616	info@yturumi-shakyo.jp
神奈川区社会福祉協議会	〒221-0825 神奈川区反町 1-8-4 「はーと友 神奈川」内	311-2014	313-2420	info@kanakushakyo.com
西区社会福祉協議会	〒220-0011 西区高島 2-7-1 ファーストプレイス横浜 3階	450-5005	451-3131	nishisha@r5.dion.ne.jp
中区社会福祉協議会	〒231-0023 中区山下町 2 産業貿易センタービル 4階	681-6664	641-6078	info@nakasha.net
南区社会福祉協議会	〒232-0024 南区浦舟町 3-46 浦舟複合福祉施設 8F	260-2510	251-3264	tomony@minami-shakyo.jp
港南区社会福祉協議会	〒233-0003 港南区港南 4-2-8 3F 港南区福祉保健活動拠点内	841-0256	846-4117	info@kounan-shakyo.jp
保土ヶ谷区社会福祉協議会	〒240-0001 保土ヶ谷区川辺町 5-11 「かるがも」3階	341-9876	334-5805	h@shakyo-hodogaya.jp
旭区社会福祉協議会	〒241-0022 旭区鶴ヶ峰 1-6-35 「はれと旭」内	392-1123	392-0222	asahi-ks@ceres.ocn.ne.jp
磯子区社会福祉協議会	〒235-0016 磯子区磯子 3-1-41 磯子センター 5階	751-0739	751-8608	info@isoshakyo.com
金沢区社会福祉協議会	〒236-0021 金沢区泥亀 1-21-5 「いきいきセンター金沢」内	788-6080	784-9011	info@kanazawa-shakyo.jp
港北区社会福祉協議会	〒222-0032 港北区大豆戸町 13-1 吉田ビル 206	547-2324	531-9561	hokuhoku@kouhoku-shakyo.jp
緑区社会福祉協議会	〒226-0011 緑区中山町 413-4 「ハーモニーみどり」内	931-2478	934-4355	info@midori-shakyo.jp
青葉区社会福祉協議会	〒225-0024 青葉区市ヶ尾町 1169-22 青葉区福祉保健活動拠点	972-8836	972-7519	info@aosha.jp
都筑区社会福祉協議会	〒224-0006 都筑区荏田東 4-10-3 港北ニュータウンまちづくり館内	943-4058	943-1863	info@tsuzuki-shakyo.jp
戸塚区社会福祉協議会	〒244-0003 戸塚区戸塚町 167-25 横浜市戸塚区福祉保健活動拠点 1F	866-8434	862-5890	totsukaku@trust.ocn.ne.jp
栄区社会福祉協議会	〒247-0005 栄区桂町 279-29 栄区福祉保健活動拠点内	894-8521	892-8974	office@sakaeku-shakyo.jp
泉区社会福祉協議会	〒245-0016 泉区和泉町 3540 「泉ふれあいホーム」内	802-2150	804-6042	normalize@shakyo-iy.or.jp
瀬谷区社会福祉協議会	〒246-0021 瀬谷区二ツ橋町 318-5 「パートナーせや」内	361-2117	361-2328	info@seyaku-shakyo.jp
横浜市ボランティアセンター	〒231-8482 横浜市中区桜木町 1-1 横浜市健康福祉総合センター 8F	201-8620	201-1620	yvc@yokohamashakyo.jp

■情報提供機関

神奈川県保健福祉部地域保健福祉課 保健福祉人材班	横浜市中区日本大通 1 http://www.pref.kanagawa.jp/osirase/tiikhoken/kaigoin/index.html TEL:045-210-4755 FAX:045-210-8857
神奈川県社会福祉協議会 かながわ福祉人材センター	横浜市中区神奈川区鶴屋町 2-24-2 かながわ県民センター 13F http://www.knsyk.jp/jinzai/index.html TEL:045-312-1121 (代) FAX:045-313-4590
横浜市介護人材情報提供システム	http://www.city.yokohama.jp/kenkou/zinzaikakuho/
横浜市社会福祉協議会	横浜市中区桜木町 1-1 横浜市健康福祉総合センター http://www.yokohamashakyo.jp/ TEL:045-201-2096 FAX:045-201-8385
川崎市社会福祉協議会 川崎市福祉人材バンク	川崎市中区上小田中 6-22-5 川崎市総合福祉センター 5F 川崎市社会福祉協議会内 http://www.csw-kawasaki.or.jp/manpower/ TEL:044-739-8726 FAX:044-739-8740

注1)この一覧表は平成21年2月末現在の内容です。詳しくはお問合わせください。

注2)ホームヘルパーの養成講座については、点線内の社会福祉協議会合同ホームページをご覧ください。

■協力

- 横浜市麦田地域ケアプラザ
- 横浜市永田地域ケアプラザ
- 横浜市泥亀地域ケアプラザ
- 横浜市阿久和地域ケアプラザ
- 特別養護老人ホーム新横浜さわやか苑
- 障害者地域活動ホーム かがやき

- 障害者支援施設 横浜らいず
- 障害者福祉サービス事業所 SELP・社
- 横浜市福祉サービス協会 はーとプランみなみ
- 横浜市社会福祉協議会・ボランティアセンター
- 横浜南区社会福祉協議会

- 横浜市泉区社会福祉協議会
- 横浜移動サービス協議会
- 横浜市立南高等学校
- 横浜市立原中学校
- 横浜市立南中学校
- 横浜市教育委員会

■奥付

こころとこころをつなぐ 福祉の世界がみえてくる 福祉にタッチ 平成 22 年 3 月発行

発行 横浜市健康福祉局高齢在宅支援課

〒231-0017 横浜市中区港町 1 丁目 1 番地 電話 045-671-3464 FAX 045-681-7789

年 組 名前

中学生が考える福祉の世界



- 体験してみよう!
福祉にタッチ①ただいま体験中…2ページ
- 挑戦してみよう!
福祉にタッチ②ボランティア…4ページ
- 福祉ってどんな仕事?
プロにタッチ①介護福祉士…6ページ
プロにタッチ②生活支援員…8ページ
プロにタッチ③支援員…10ページ
プロにタッチ④介護福祉士…11ページ
- どんな職場があるの?
職場にタッチ●働く場所…12ページ
- 福祉・介護の仕事につくまで
仕事にタッチ●働くときの資格…14ページ

福祉にタッチ

こころとこころをつなぐ



福祉の世界がみえてくる



自分が困っているとき
誰かに声をかけられたり
手を貸してくれたら…
きっとホッとするだろう。
その気持ちをまわりの人のために
生かす仕事がある。

体験してみよう!

福祉にタッチ^① ただいま体験中

初めて乗った車いす。 何も見えないアイマスク。 ヒヤヒヤ、ドキドキの連続だった。

いつも歩いている道がこんなにデコボコしていたなんて。踏み出そうとする足が思うように動かないなんて。車いすを利用すると、今まで気づかなかったことがたくさんわかった。目が見えないととっても不安で、誰かがそばにいてほしかった。



▲身体が思うようには…高齢者体験



▲障害のある人からアドバイスを
受けて体験学習に。



▲段差が気になる…車いす体験

どこを歩いているんだろう…アイマスク歩行体験▶



▲ちゃんと作れるかな?…点字製作



▲体験レポートを報告



▲高齢者向けレクリエーションを体験



▲口の動きでコトバにする…口話体験のひとつ



▲はっきり大きな声で…音声訳体験



▲音声訳体験

こんな『体験』もしてみよう!

- 幼稚園や保育園に通っていた頃を思い出しながら、小さな子と遊んでみる。
- まちの人たちと一緒に、道や公園のごみを拾ってみる。
- 餅つきや夏祭りなどの季節の行事に参加したり、手伝いをしてみる。
- おじいちゃん、おばあちゃんの家へ、遊びに行ってみる。

あなたの顔と名前を知る人がまちに増えていくと、互いに挨拶をしたり、声をかける場面が多くなっていき、人とつながるきっかけがたくさんできます。

自分のまわりには、いろいろな人たちが暮らしていると気づくと、今度はその人たちがいま困っていること、誰かに助けてほしいことや、あなたにしてほしいこともわかってくるでしょう。そこであなたは考える。いま自分にできることは何だろう。そして、できる範囲で力になろうとします。それが「こころこころがつながる」こと、つまり、福祉への第一歩なんです。

ちょうせん
挑戦してみよう!

福祉にタッチ² ボランティア

こう れい しゃ し せつ
高齢者の施設を訪ねたら、
楽しそうなおしゃべりや笑顔で
あふれていた。

高齢者の施設に行ったら、おじいちゃん、おばあちゃんが大勢来ていた。最初はどやって接したらいいのかわからなかった。

「よく来てくれました。」そう言ってくれたのでずいぶん楽になった。元気をもらったような気がした。



▲小学生も一緒に楽しく…高齢者とのレクリエーション

サマボラ、ちょっとボラもOK。 興味をもったらやってみよう

ボランティアという言葉には「自由意思で、自ら進んでやってみる」という意味があります。例えば夏休み、障害のある子と花火をしたりプールに行ったり、週末の時間を利用して近くの施設・ケアプラザでの手伝いを、あなたの意思で進んでやってみたのなら、それは立派なボランティア活動になります。

- 家や学校でペットボトルのふたを集め寄付する。
- 車椅子の人の外出に付き添う。
- 目の見えない人のために点字を打ってみる。
- 日本語を覚えたい外国の子のために勉強を手伝う。
- まちを流れる川の掃除に参加する。
- 公園の落ち葉を集めてきれいにする。

ここに挙げた活動は、すべてボランティアになります。まずはあなたが興味をもって、やってみたいことを考えてみよう。ボランティアへの第一歩は、案外軽く踏み出せるかもしれません。→詳しくは裏表紙に。



▲ゴミステーションでの清掃ボランティア



▲音楽を通じてふれあう



▲工場見学に行つて

「お願いしまーす」
赤い羽根共同募金^{ほ きん}で街角に立った。
「こんにちは」
障害のある子どもとゲームをして遊んだ。



▲お出かけは手をつないで…

駅に向かう人、買い物に行く人に声をかけるのはちょっと恥ずかしかった。でも、赤い羽根をさしてあげると「ありがとう。えらいね」と言われてホッとした。

障害のある子どもとお出かけをした。

最初はうまく気持ちが伝えられなかったけれど、帰り際に手を強く握られてうれしかった。



▲お願いしまーす…赤い羽根共同募金活動に参加



▲防犯PRに一役買いました

福祉ってどんな仕事？

プロにタッチ^① 介護福祉士



宇納寿美さん

坂本ゆかりさん

その人の暮らしがある「もうひとつの家」で、 その人が必要とする支援を続けていくのが魅力です。

来てくれてよかったよ

宇納さんは高校時代に、施設のボランティアに参加した程度でした。調理の道に進みましたが福祉の仕事がやりたくて介護の現場をめざしました。

「夜勤であるお部屋を巡回したとき、“来てくれてよかったよ”とその方に言われました。心細くて

なかなか寝付かれなかったのでしょうか。新人の私が顔を出したただけなのにホッとした表情をみせてくれてとても励まされました。」

坂本さんは新人のころ、時間を見つけてはノートにメモをしました。お世話をする方々の名前、特徴を書き込んで一日でも早く覚えようとしたのです。ある日、利用者の一人が坂本さんの名前を呼びました。「私の名前を覚えてくださったことに感激

プロフィール

社会福祉法人清光会 特別養護老人ホーム新横浜さわやか苑 勤務

宇納寿美さん(左)は、調理師として働いたのちに福祉の専門学校に進学。介護福祉士の資格を取得して新横浜さわやか苑の職員になった。坂本ゆかりさん(右)は、普通科の高校から福祉専門学校へ進学。介護福祉士の資格を取得して新横浜さわやか苑の職員に。

宇納・坂本さんの『きょうの仕事』



9:50~	10:00~	12:00~	13:00~	~18:30	18:45~
●出勤。 着替え	●利用者の介助 寝返り介助、着替え、排せつ・おむつ交換、入浴介助、食事介助、機能訓練など	●昼食の介助	●担当する利用者それぞれの過ごし方の希望にあわせた介助などを中心に	●一日のまとめ、利用者の様子などを記録して夜勤担当者に報告する	●帰宅

しました。面会に来る家族から親(利用者)の暮らしぶりを聞かれたとき「頼りにされている！」と心の中でガッツポーズが出ました。

特別養護老人ホームの利用者と職員は家族も同然、とよく言われます。新人時代の二人は利用者とその家族、先輩職員や多くのボランティアに支えられ見守られて成長していきました。



想像以上に見られている安心感 責任感

利用者のお世話をしているつもりが、実は利用者から気にかけてもらっている…。「仕事に慣れようと必死だったころ、とても疲れていたんだと思います。“どうしたの、元気ないね”とある方が声をかけてくださって、とても気分が軽くなりました。」と宇納さん。平均年齢が80代半ばの利用者の目に、二人はかわいい孫のように映るのです。

「私たちが利用者一人ひとりに目を向ける以上に、私たちはいつも見られている、気をつけてもらっているとわかってから介護の仕事の面白さ、責任の大きさがわかるようになりました。」利用者



それぞれの暮らしがあるさわやか苑＝「もうひとつの家」で、必要とされる仕事を続けていく自信が二人の中で大きくなっています。

福祉の仕事いろいろ

訪問介護員(ホームヘルパー)



年齢を重ねて身体が思うように動かなくなったり、病気やけがをきっかけに日常生活に無理ができてしまった人を介護するのがホームヘルパーです。その方の自宅を訪問して食事や入浴、排せつなどその人の生活の手助けを行ったり外出に付き添います。また、料理や洗濯、買い物などをその人に代わってすることもあります。利用者の多くが人生経験の豊かな利用者から福祉の専門職として、また、人として育てられるのがこの仕事の大きな魅力です。



ホームヘルパーになるには、神奈川県が指定する研修機関などで勉強・実習を行うことが必要です。福祉の授業の一環としてホームヘルパーについて学んだり、近くの福祉施設でボランティア体験を実施する学校もあります。

ふくし
福祉ってどんな仕事?

プロにタッチ² 生活支援員

よし だ ま り こ
吉田万里子さん



利用者の生活をつぶさに見る立場ですから、人に教えられ、興味がわき、好きになります。

福祉職デビュー


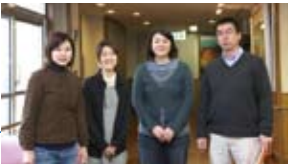

横浜らいずでは、生活支援員などのスタッフが3グループに分かれ24時間・365日体制で利用者を支援します。新潟の専門学校を卒業し、横浜で福祉職として一歩を踏み出した吉田さんは、らいずの一員となって5日目に初めて夜勤を体験しまし

た。「夕方から勤務に入り、先輩職員の担当する利用者の支援を行いました。緊急の場合は先輩職員に助けを求めようと携帯アドレスを教えてもらって臨みましたが、何が何だかわからないまま朝になりました。」

一年目は仕事を覚えることで精一杯。二年目は生活支援に欠かせない介助技術の向上に努力し、三年目はプロの福祉職としての自覚を深める…。

プロフィール

社会福祉法人横浜共生会 障害者自立支援法障害者支援施設 横浜らいず 勤務
吉田さんは新潟生まれ。中学時代に福祉に興味をもつ。長岡看護福祉専門学校を卒業後、平成20年4月から横浜らいずの生活支援員としてスタートした。

吉田さんの『きょうの仕事』	7:00~	8:00~	9:30~	11:30~	13:30~	16:00~
 ●出勤後、担当する利用者の部屋を訪ねて起床の介助 	●出勤後、担当する利用者の部屋を訪ねて起床の介助	●朝食の用意・食事介助と後片付け	●リラクゼーションを中心に利用者と過ごす 洗たく・散歩・音楽を聴く・喫茶店に行くなど	●昼食の準備 利用者とともに職員も同じ時間に昼食をとる	●食事の後片付け その後は自由な時間を利用者と過ごす	●夜勤 スタッフとの交代連絡
	[夜勤の場合] 16:00~ 日勤スタッフとの交代連絡 利用者の入浴介助など 18:00~ 夕食の準備と利用者との食事・後片付け 21:00~ 安全確認など。					

スタッフの方々▶

以来、吉田さんは日々接する多くの利用者から教えられ、学ぶことの連続だったと振り返ります。利用者を受け入れられるか毎日心配だった新人のころ、初めて「吉田さん」と名前を呼ばれたときの感激は今も覚えています。先輩職員から指摘された“心の支援の大切さ”とは何だろう、と考えることも忘れてたことはありません。



その人のために自分にできること

利用者との人間関係が深まるにつれて“その人(利用者)のために自分にできることは何だろう?”という自問自答が始まったと吉田さんは続けます。今の介助で十分だったのだろうか、もっといい方法があったのではないかといつも考えるようになったと言います。

利用者の生活をつぶさに見つめて、その人に必要な支援を行うのが生活支援員です。その人がもっと楽しく暮らせるように、生活にメリハリができるように支援することをつねに考える吉田さ



んでさえ課題は日々見付き、その解決を自分なりに探りながら利用者に向き合っています。

福祉の仕事いろいろ

ガイドヘルプボランティア



ガイドヘルプボランティアは視覚・知的・精神障害のある人、身体に障害があり車いすで外出する人の曜日・時間帯にあわせて利用者の家まで迎えに行き、行動をとるに移動中の支援をしながら利用者の家に戻るまで付き添います。登下校の時間にあわせて学校や駅、バス停まで迎えに行くこともあります。福祉施設で多くの人と接するボランティアと異なり、個人を対象にした移動支援が中心です。定



期的な付き添いが多いので、ボランティアを続けるためには仕事や勉強の都合をつけ、体調にも人一倍気を使います。

ガイドヘルプボランティアは利用者・保護者との信頼関係が欠かせません。“その人という時間は、その人がしたいこと、行きたい気持ちを大切に精一杯応えること”を心がけます。あるボランティアは「利用者で過ごす時間が長くなるにつれて利用者からさまざまなことを教えられ、自分の成長を実感します」と話してくれました。

ふくし
福祉ってどんな仕事？

プロにタッチ³ 支援員

ね もと まさ と
根本優人さん



誰だって、はじめのうちはうまくいかない。
大丈夫、続けていくうちに自信がついてきます。

「大先輩」の中にとびこんで

根本さんが福祉施設の実習を通じて就職した SELP・社では、開所当時から通っているパン部門の大先輩たちが笑顔で迎えてくれました。「10年以上もパンを作り続けている利用者さんの前で福祉のプロをめざして一歩を踏み出した僕は、利用者さんからパン作りのすべてを教えてもらう日々を過ごしました。」仕事を覚え「大先輩」と過ごす時間が積み重なっていくにつれて自分が成長していく手ごたえを感じることが増えていきました。



プロフィール 社会福祉法人 杜の会 障害者自立支援法障害福祉サービス事業所 SELP・社 勤務
横浜生まれの根本さんは地元の高校を卒業後、横浜国際福祉専門学校へ進学。実習先の一つだった SELP・社を選んで福祉職としてスタート。4年目になる。

「おいしいね」って ほめられるとうれしい

毎朝9時半ごろから作るパンは約60種類。予約が重なると400個近くにも。「生地ができました。」「後ろを通ります。」「オープンに入れます。」「焼きあがりました。」作業はすべて大きな声でまわりに伝えながら進めます。

お昼が近くなると焼き立てのパンを目当てにお客様が集まってきます。「おいしい、と言われると明日も一生懸命にパンを作ろうと思います。」利用者がみんなの気持ちを代表して誇らしげに話す姿を、根本さんはうれしそうに眺めていました。

その日の利用者一人ひとりの体調や気分などに気を配りながら、パン作りを通じて働く喜び、生きる自信を感じてもらえるように働きかける。これが根本さんの仕事です。「でも本当は、利用者さんの元気な姿に僕が勇気づけられ、支えられているんです。」



ふくし
福祉ってどんな仕事？

プロにタッチ⁴ 介護福祉士

あい だ ゆ き こ
相田由紀子さん



年齢を重ねてきた人の優しさに触れると、
それまで味わったことのない感覚になると思います。

福祉の学校へ進んだ高校生

横浜市泥亀地域ケアプラザのデイサービス利用者は一日平均30数名。開所当時から通う人、90代の方もいます。相田由紀子さんが接してきた利用者の中には訓練と努力を重ねて自力で歩けるようになった人もいたということです。

中学校、高校の生徒がデイサービス体験に来る日は利用者が孫のような生徒に微笑みかけたり昔話を聞かせたりして、そこから会話が始まるのも珍しくないと言います。ボランティアに来た高校生が利用者と接して福祉の学校に進学したこ



プロフィール 社会福祉法人 横浜市福祉サービス協会 横浜市泥亀地域ケアプラザ 勤務
自宅で祖父の介護を経験したのが、福祉職を目指す一歩だった。泥亀地域ケアプラザのデイサービススタッフになって8年目。介護福祉士の資格を取得したのは4年前。

とも話してくれました。

「年齢を重ねてきた人の優しさ、温かさに触れるとそれまでに味わったことのない感覚になるのではないのでしょうか。私自身も利用者さんにいろいろと教えられ福祉職として育てられています。」

成長する自分 ふくらむ自信

「困っている人の力になりたい。その人の夢を実現する手伝い如果能したら。こうした気持ちが何より大事」と相田さん。一人ひとりの抱える課題、生き方をしっかりとつかむことが介護の仕事の第一歩。「経験を積んで、目標に向かって成長していく自分を想像し続ければ自信がついてきます。」と若い人にエールを送ります。



どんな職場があるの？

職場に **タチ** 働く場所

なにげなく通り過ぎたその場所が
介護・福祉の仕事の入り口に…。
身近にあります。いろいろな施設。



専門的な技術とあたたかい心で高齢者が
いきいきと生活できるようサポート

障害がある人の可能性を信じる！
見つける！引き出す！サポート

子どもの現在(いま)と未来、
成長と発達をサポート

高齢者が暮らしている場所

- 特別養護老人ホーム
- 養護老人ホーム
- 認知症高齢者グループホーム …など
- 介護職員
- 生活相談員
- 介護支援専門員(ケアマネジャー) …など

高齢者福祉分野

医療的なサービスを受ける場所

- 老人保健施設
- 訪問看護ステーション …など
- 介護職員
- 医療ソーシャルワーカー
- 精神保健福祉士
- 看護師 …など

家庭で暮らしている人を支援する場所

- 訪問介護事業所(ヘルパーステーション)
- 地域包括支援センター
- 老人デイサービスセンター
- 在宅介護サービス関連企業(福祉用具レンタル・販売など) …など
- 介護職員
- ホームヘルパー(訪問介護員)
- サービス提供者
- 介護支援専門員(ケアマネジャー) …など

障害児・者福祉分野

身体障害
知的障害
精神障害

障害のある子どもが利用する場所

- 障害児施設
- 障害児通園施設
- 介護職員
- 生活支援員
- 保育士
- 児童支援員 …など

児童福祉分野

子どもが暮らしたり利用する場所

- 保育園
- 児童養護施設
- 乳児院
- 児童館
- 学童保育所 …など
- 保育士
- 児童支援員 …など

障害のある大人が利用する場所

- 障害者更生施設
- 障害者授産施設
- 障害者療護施設
- 障害者デイサービスセンター
- 障害者地域作業所 …など
- 生活支援員
- 作業支援員(職業指導員)
- 介護職員 …など

地域における人々のよりよい生活を
しっかり支える調整役

地域福祉分野 その他

- 社会福祉協議会
- 児童相談所
- 保健福祉事務所、福祉事務所
- 保健所 …など
- 社会福祉協議会職員
- ボランティアコーディネーター
- ケースワーカー
- ソーシャルワーカー …など

医療

■病院

もっと詳しく知りたい方は

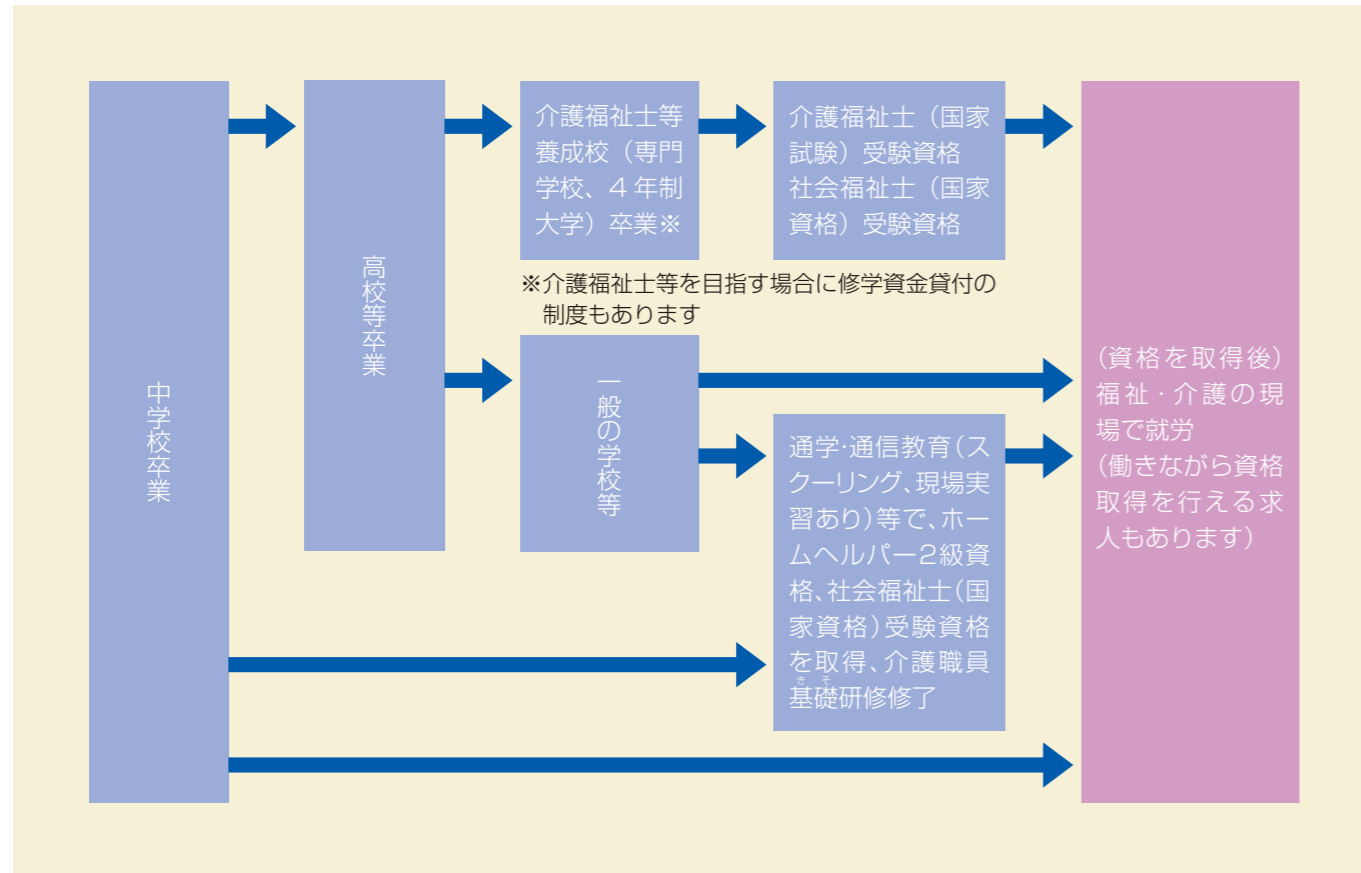
神奈川県社会福祉協議会かながわ福祉人材センター
にお問い合わせください(裏表紙)

仕事に **タッチ** 働くときの資格

今日も福祉・介護の仕事を目指す たくさんの仲間が勉強しています



■福祉・介護の仕事に就くにはいろいろな方法があります



■よく耳にする福祉・介護の資格

ホームヘルパー 2 級	介護の仕事に関する入門的な資格。 在宅の高齢者、障害者宅で支援を行うほか、社会福祉施設で支援を行う人もたくさんいます。 他の資格に比べれば比較的簡単に資格取得ができます。（取得にあたっては試験はありません）
社会福祉士	福祉の相談に応じ、助言、指導、その他の援助に当たる相談援助職の国家資格です。 分野を問わず幅広い福祉施設・団体での相談業務を担当します。
介護福祉士	専門的な介護の知識と技術で高齢者や障害者を支える国家資格です。
精神保健福祉士	精神障害者の生活に関する相談や日常生活の訓練などを行う国家資格です。 病院、保健所、保健福祉センター、精神障害者の施設などで活躍しています。
保育士	保育所で仕事をするためには必須の資格。児童福祉施設、児童館、障害児施設などにも活躍の場があります。

もっと詳しく知りたい方は裏表紙記載の機関・団体にお問い合わせください

■介護福祉士養成校（平成22年3月現在）

学校名	住所	TEL
湘南医療福祉専門学校	〒244-0805 横浜市戸塚区川上町 84-1	045-820-1329
聖ヶ丘教育福祉専門学校	〒240-0067 横浜市保土ヶ谷区常盤台 66-18	045-335-2312
横浜国際福祉専門学校	〒227-0053 横浜市青葉区さつきが丘 8-80	045-972-3294
YMCA 健康福祉専門学校	〒243-0018 厚木市中町 4-16-19	046-223-1441
神奈川社会福祉専門学校	〒254-0046 平塚市立野町 1-10	0463-30-3231
東海大学	〒259-1193 伊勢原市下糟屋 143	0463-93-1121
田園調布学園大学	〒215-8542 川崎市麻生区東百合丘 3-4-1	044-966-9211
YMCA 福祉専門学校	〒214-0014 川崎市多摩区登戸 3032-2	044-932-2015
神奈川県立保健福祉大学	〒238-8522 横須賀市平成町 1-10-1	046-828-2500
鶴見大学短期大学部	〒230-8501 横浜市鶴見区鶴見 2-1-3	045-581-1001
大原医療秘書福祉専門学校	〒221-0825 横浜市神奈川区反町 1-8-14	045-311-6824 045-324-4837

■社会福祉士養成校（平成22年3月現在）

学校名	住所	TEL
全国社会福祉協議会 中央福祉学院	〒240-0197 三浦郡葉山町上山口 1560-44	046-858-1355
茅ヶ崎リハビリテーション専門学校	〒253-0083 茅ヶ崎市西久保 500	0467-88-6611
YMCA 福祉専門学校	〒214-0014 川崎市多摩区登戸 3032-2	044-932-2015